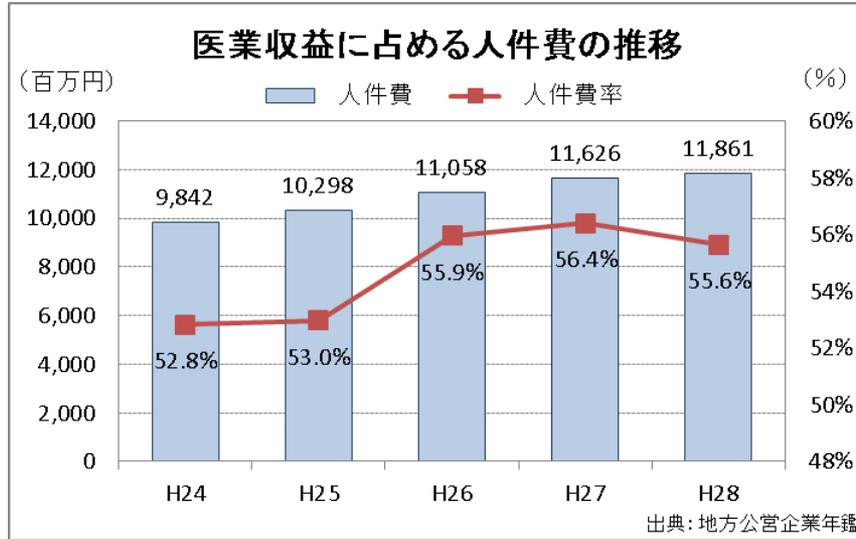


経営に関するアドバイスについて

1. 取組は順調だが赤字という場合が多い。人件費を分析してみてもどうか。
(和田委員)
2. 材料費も分析した方が良い。診療材料費は、保険請求できる・できないものに分けて分析してはどうか。
(檜谷委員)

【現状分析①】 医業収益に対する人件費の割合

広島病院



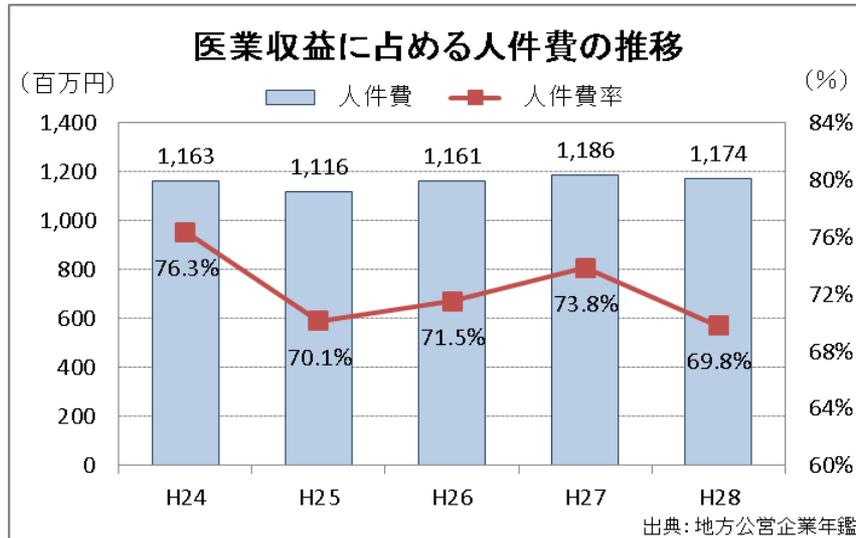
(医業収益に占める人件費率: 税抜)

(単位: 百万円)

区分	H24	H25	H26	H27	H28
医業収益	18,631	19,441	19,764	20,618	21,319
(対前年比較)		+810	+323	+854	+701
人件費	9,842	10,298	11,058	11,626	11,861
(対前年比較)		+456	+760	+568	+235
人件費率	52.8%	53.0%	55.9%	56.4%	55.6%
(対前年比較)		+0.1%	+3.0%	+0.4%	△0.8%

- 医業収益を増加させる一方で、H25以降、人件費が増加している。
- H28の人件費率は微減しているが、56%前後で推移している。

安芸津病院



(医業収益に占める人件費率: 税抜)

(単位: 百万円)

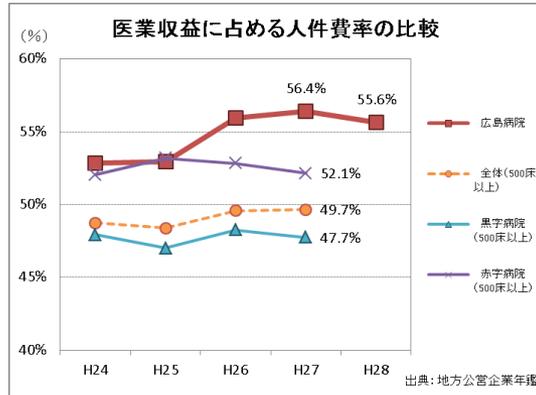
区分	H24	H25	H26	H27	H28
医業収益	1,524	1,591	1,624	1,607	1,681
(対前年比較)		+67	+33	▲17	+74
人件費	1,163	1,116	1,161	1,186	1,174
(対前年比較)		△47	+45	+25	△13
人件費率	76.3%	70.1%	71.5%	73.8%	69.8%
(対前年比較)		△6.2%	+1.4%	+2.3%	△4.0%

- 人件費は横這いで推移しているが、人件費率が高い水準(70%超)にある。
- 医業収益の伸びにより、H28の人件費率は減少している。

【現状分析②】 人件費の他の自治体病院との比較 (総務省:地方公営企業年鑑より)

<広島病院:人件費率の比較>

①病床数500床以上の病院との比較



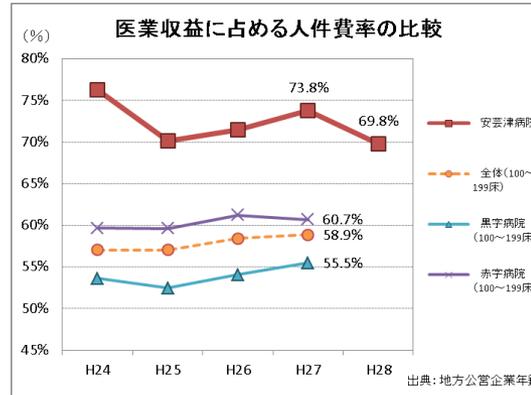
(医療収益に占める人件費率:税抜) (単位:%)

	H24	H25	H26	H27
広島病院	52.8%	53.0%	55.9%	56.4%
全体	48.7%	48.4%	49.6%	49.7%
黒字病院	47.9%	47.0%	48.3%	47.7%
赤字病院	52.0%	53.2%	52.8%	52.1%

- 医療収益に占める人件費率を病床数500床以上の病院と比較すると、赤字病院より高い。(H27:+4.3%)

<安芸津病院:人件費率の比較>

②100床以上200床未満の病院との比較

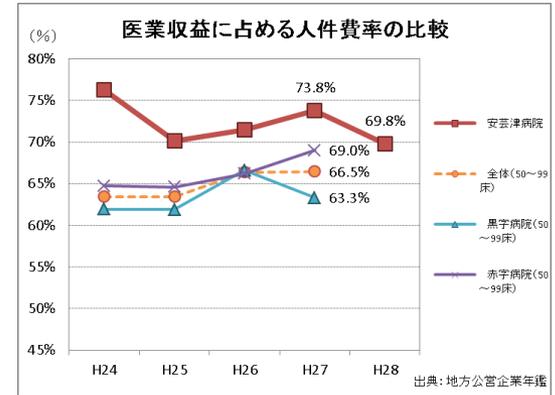


(医療収益に占める人件費率:税抜) (単位:%)

	H24	H25	H26	H27
安芸津病院	76.3%	70.1%	71.5%	73.8%
全体	57.1%	57.1%	58.4%	58.9%
黒字病院	53.6%	52.5%	54.1%	55.5%
赤字病院	59.7%	59.6%	61.2%	60.7%

- 医療収益に占める人件費率を病床数100床以上200床未満の病院と比較すると、赤字病院より大幅に高い。(H27:+13.1%)
- 病床数50床以上100床未満の病院との比較においても、赤字病院より高い。(H27:+4.8%)

③50床以上100床未満の病院との比較



(医療収益に占める人件費率:税抜) (単位:%)

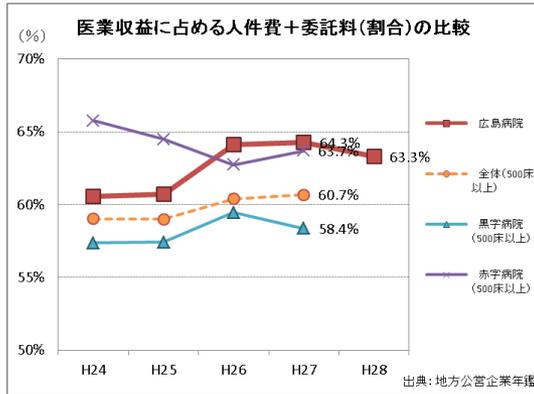
	H24	H25	H26	H27
安芸津病院	76.3%	70.1%	71.5%	73.8%
全体	63.4%	63.4%	66.4%	66.5%
黒字病院	62.0%	61.9%	66.6%	63.3%
赤字病院	64.8%	64.6%	66.2%	69.0%

【現状分析③】 人件費＋委託料(割合)の他の自治体病院との比較 (総務省:地方公営企業年鑑より)

※診療報酬請求事務等, 病院によって形態が違うため, 人件費＋委託料の合計額で比較

<広島病院:人件費＋委託料の比較>

①病床数500床以上の病院との比較



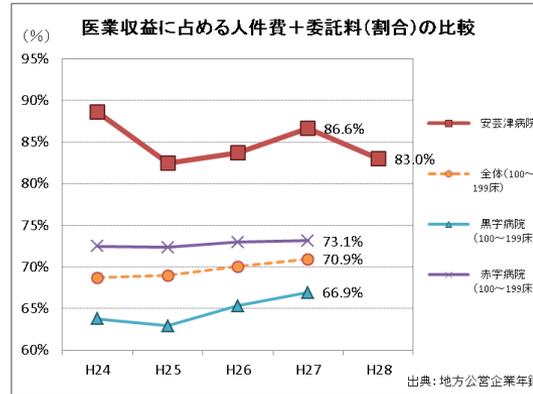
(医療収益に占める人件費＋委託料(割合): 税抜)

	H24	H25	H26	H27
広島病院	60.6%	60.7%	64.1%	64.3%
全体	59.0%	59.0%	60.4%	60.7%
黒字病院	57.4%	57.4%	59.5%	58.4%
赤字病院	65.8%	64.5%	62.7%	63.7%

- 医療収益に占める人件費＋委託料を病床数500床以上の病院と比較すると, 赤字病院より僅かに高い。(H27: +0.6%)

<安芸津病院:人件費＋委託料の比較>

②100床以上200床未満の病院との比較

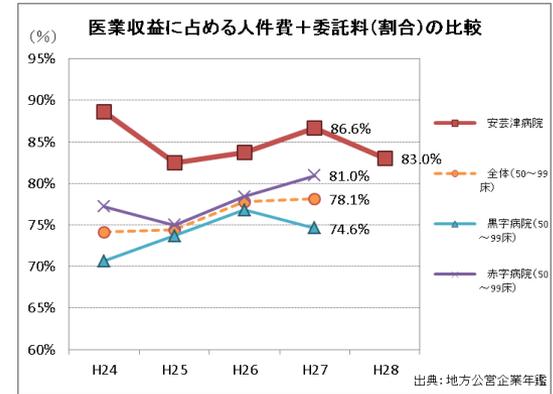


(医療収益に占める人件費＋委託料(割合): 税抜)

	H24	H25	H26	H27
安芸津病院	88.6%	82.5%	83.7%	86.6%
全体	68.7%	69.0%	70.0%	70.9%
黒字病院	63.8%	62.9%	65.3%	66.9%
赤字病院	72.5%	72.3%	73.0%	73.1%

- 医療収益に占める人件費＋委託料を病床数100床以上200床未満の病院と比較すると, 赤字病院より高い。(H27: +13.5%)
- 病床数50床以上100床未満の病院との比較においても, 赤字病院より高い。(H27: +5.6%)

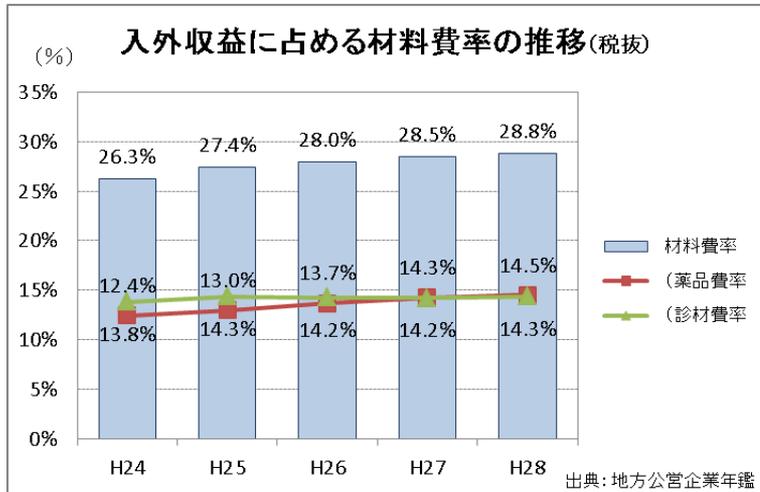
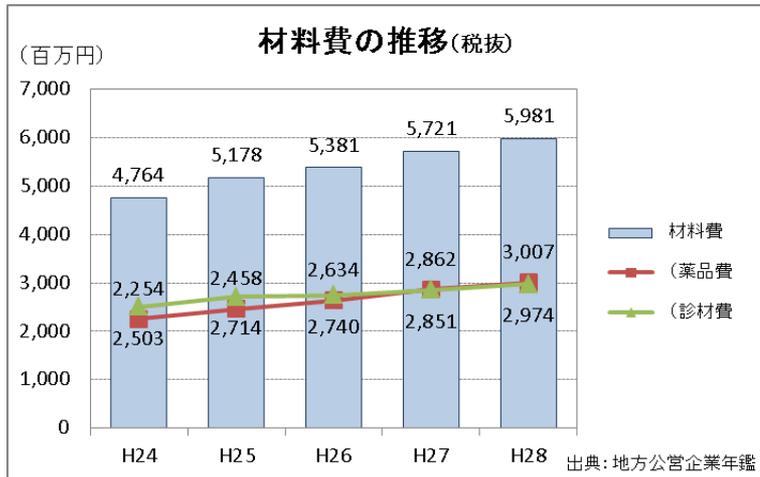
③50床以上100床未満の病院との比較



(医療収益に占める人件費＋委託料(割合): 税抜)

	H24	H25	H26	H27
安芸津病院	88.6%	82.5%	83.7%	86.6%
全体	74.1%	74.4%	77.8%	78.1%
黒字病院	70.7%	73.7%	76.8%	74.6%
赤字病院	77.2%	75.0%	78.4%	81.0%

【現状分析①】入院・外来収益に対する材料費の割合



<材料費の主な増加要因:H27→H28>

(薬品費: 税抜) (単位: 百万円)

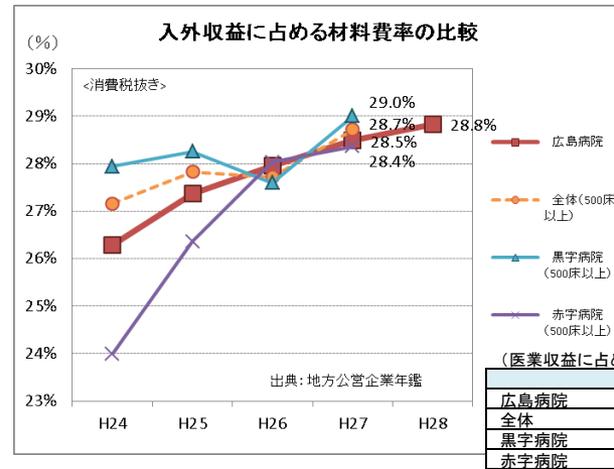
	H27	H28	差
薬品費	2,862	3,007	145
(オプジーホ®点滴静注)	97	227	130
(ソリス点滴静注)	23	65	42

※ソリス点滴静注
非典型性溶血性尿毒症症候群
(希少疾患)に対する治療薬

(診療材料費: 税抜)

	H27	H28	差
診療材料費	2,851	2,974	123
(カテーテル治療関連)	621	695	74
(ペースメーカー関連)	119	173	55

<材料費率の比較:500床以上の自治体病院>



(医療収益に占める材料費率: 税抜)

	H24	H25	H26	H27
広島病院	26.3%	27.4%	28.0%	28.5%
全体	27.2%	27.8%	27.7%	28.7%
黒字病院	27.9%	28.3%	27.6%	29.0%
赤字病院	24.0%	26.4%	28.0%	28.4%

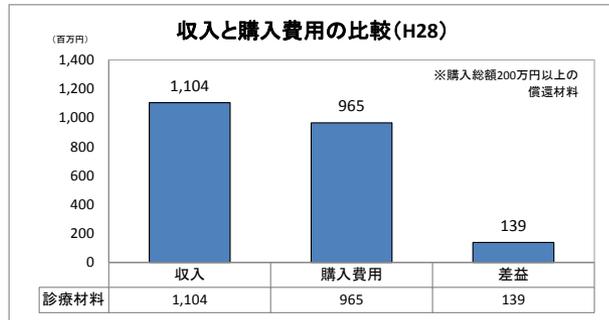
- 医療の高度化に伴う、高額な薬品(オプジーホ®・ソリスなど)や診療材料(カテーテル治療、ペースメーカー)の使用増加に伴い、入外収益に占める材料費率が増加している。
- ただし、材料費率は500床以上の自治体病院と比較した場合、同水準である。

【現状分析②】 診療材料の請求状況

〈診療材料費分析①:償還材料〉

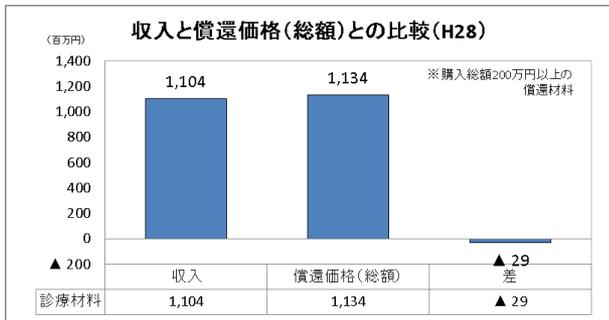
○購入総額200万円以上の償還材料(95品目)で検証

■ 収入と購入費用の比較



➤ 償還材料の購入費用に対し、収入が上回っている。

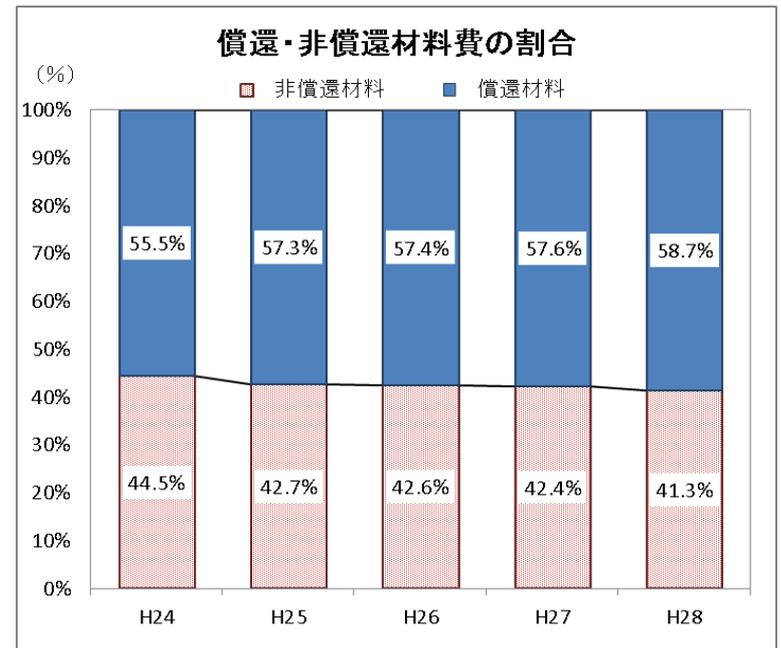
■ 収入と購入材料の償還価格(総額)との比較



➤ 実際の収入と購入材料の償還価格の総額にほとんど差がない。

※償還価格(総額)には、診療報酬で算定できない場合や廃棄材料を含む。
例) 診療報酬上2本しか算定できない材料を3本以上使用した場合など

〈診療材料費分析②:償還・非償還材料費の割合〉

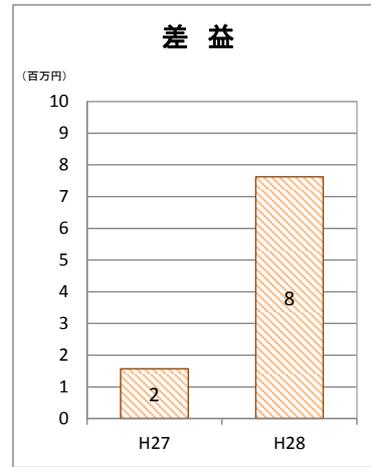
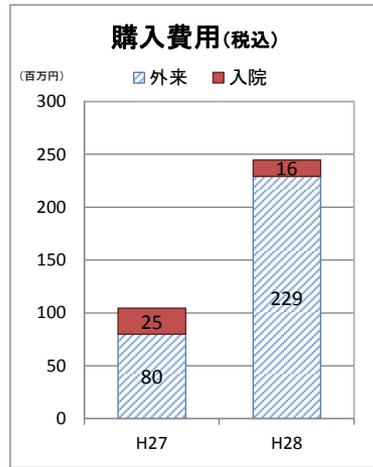
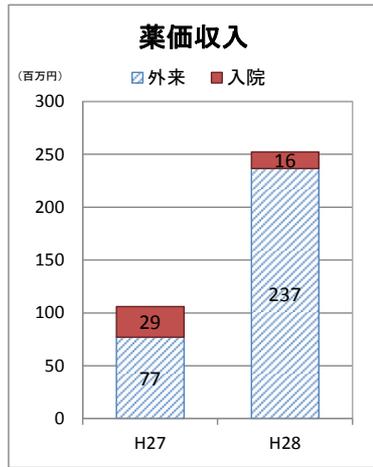


※広島病院のSPD業者が取り扱う診療材料費で算出
(診療材料費全体の8~9割のシェアをSPD業者が占めている。)

➤ 非償還材料費の割合は横這いで推移しており、材料費の増加に大きく影響しているとは言えない。

【現状分析③】 高額薬品の請求状況

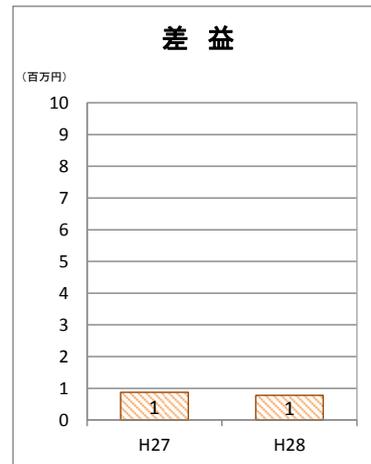
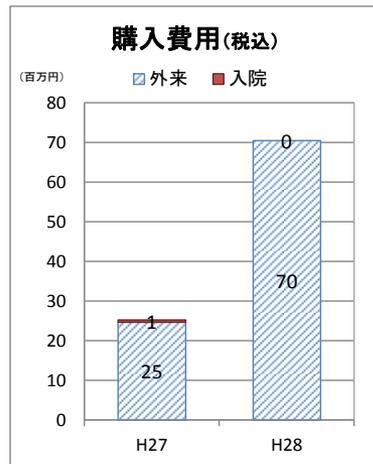
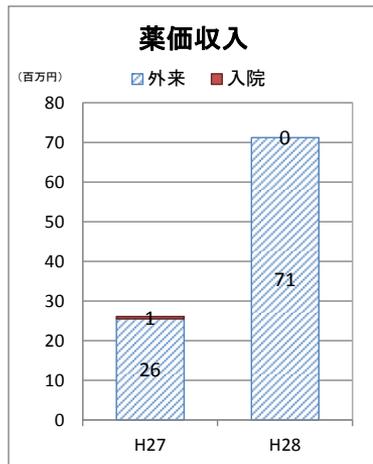
<薬品費分析①:オプジーボ点滴静注(税込)>



(単位:百万円)

区分	H27 ①	H28 ②	差 ②-①
収入	106	252	146
費用	104	245	140
差益	2	8	6

<薬品費分析②:ソリス点滴静注(税込)>



(単位:百万円)

区分	H27 ①	H28 ②	差 ②-①
収入	26	71	45
費用	25	70	45
差益	1	1	0

- 高額薬品の購入費用に対し、薬価収入が上回っている。
- 薬品費の伸びのほとんどは、外来使用によるもの。